

関係各位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会
(事務局：J A 福岡中央会 担い手サポートセンター)
(公 印 省 略)

緊急営農情報 2

乾燥による大豆の出芽障害を防止しましょう

今年は観測史上最も早い6月28日に梅雨明けしました。

7月上旬から各地で大豆播種が行われますが、晴天が続き土壤の乾燥が進んでいます。梅雨明け後の乾燥による出芽障害を防ぐため、次の対策を適切に行い、出芽～初期生育を確保しましょう。

土壤の乾燥を防ぎましょう

(1) 本暗きよの栓を閉める

- ・ 当面まとまった降雨が見込めないため、本暗きよの栓を閉めて乾燥害を防ぐ。

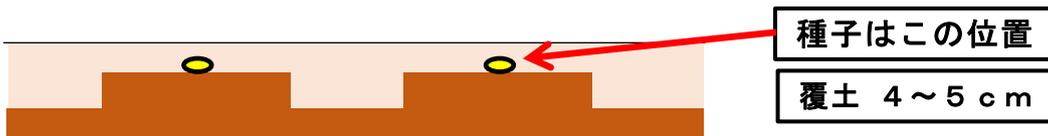
(2) 播種する直前まで耕起しない

- ・ 好天下で耕起すると、土壤が乾燥するので播種直前まで耕起しない。但し、ラウンドアップ等の非選択性除草剤で雑草対策を実施しておく。
- ・ 部分浅耕一工程播種を活用する。
- ・ 二工程播種の場合は、「耕起～播種」の時間を置かず「組作業」で行う。

播種深度を調整しましょう

(1) 部分浅耕一工程播種の場合

- ・ 種子がすき床につくよう、播種深度の調整を行う。



(2) 二工程播種の場合

- ・ 播種深度は通常よりやや深め、鎮圧をしっかり行う。

基準	土壤が乾いている場合 (梅雨明け後等、しばらく降雨がない天気予報)
3cm	基準よりやや深く (5~6cm) + 鎮圧 (麦用の鎮圧ローラー活用)

その他留意事項

- ・ 播種が早い場合は、雑草の発生時期も早く、発生量も多くなるため、播種後の除草剤を早めに、使用基準内で水量を多めにして散布する。

以上